

BRIDGE

Issue 018
The Intersection of Nihonbashi Hamacho

Section 01

メイド・イン・浜町！わがまちのものづくり人

Photo_Shiori Kitaura, Text_Tomoko Hori



Section 01
メイド・イン・浜町！
わがまちのものづくり人

Section 03
浜町エリアマネレポート
Vol.9

Section 02
気になるここに行ってみた
『TOKYO CRAFT ROOM』

Section 04
新着情報

江戸幕府開府とともに城下町として発展を遂げた日本橋エリア。商業や文化の中心地として栄えたこのエリアには、かつて数多くの職人が住んでいたとされています。今回の主役は、いまだ職人文化が残るここ日本橋浜町で、ものづくりに励む“つくり手”の人々です。古くから受け継がれた技術で日本の伝統を支える職人から、最先端の技術を用い新しい文化を作ろうと励む開発者まで、7名のインタビューを通してメイド・イン・浜町のものづくりに迫ります。



Person 01

手仕事には心を動かす力がある

・濱学高虎
中央区日本橋浜町 3-45-6

高林 晋さん
Susumu Takahashi
職方
Craftman

「職人」や「伝統」という言葉を並べられると重みが増すけれど、自分としてはシンプルに「仕事」としてとらえています。仕事というのはその人の生きざまだと思うから。そう話すのは、老舗の染元「濱学高虎」で職方を務める高林晋さん。もともとはグラフィックデザイナーをしていたものの、IT化により絶えていくものを何とか残したいという思いに駆り立てられ、25歳で先代当主に弟子入り。「名入れなどの目の前で見て頂ける仕事は、実演する機会をできる限り設けています。そうすると、最初は贈り物用に依頼していたお客様が『自分の分も...』となる。それだけ無二のものを創り出す手仕事には心を動かす力がある。その力を信じ、これからも手仕事の魅力を伝えていきたいです。」

Profile
文化服装学院で服飾を学んだ後、広告代理店に勤務。グラフィックデザインを担当していたが江戸の手仕事に興味を持ち「濱学高虎」へ。以降、30年にわたり、職方として半纏や手ぬぐい、袋などの図案や型紙制作、染め物を手がけ、伝統技術の伝承者としても活躍。

Favorite Tool
— 小刀
先人から譲りうけた型彫りに使う小刀。今は使わないものも、初心を忘れないために、常に見る場所に置いている。

Person 02

デザイナーの感性をカタチにする仕事

・株式会社プラスチック
中央区日本橋浜町 3-10-4 2F

岩倉 一朗さん
Ichiro Awakura
商品開発
Product developer

シンプルでタイムレスなアイテムが話題の「MOHEIM(モヘイム)」。母体となっているのはアクリル製品などの加工、製造を行なう、ものづくりの会社。「自社の持つ素材や技術、コネクションを活かして、新たなものづくりができないだろうか。そんな社内からの声がブランド発足のきっかけでした」。そう振り返るのは、MOHEIMの立ち上げ時から開発に携わっている岩倉一朗さん。「デザイナーの感性をカタチにするために、高度な技術を持つ国内のメーカーで金型を製作したり、ときには伝統工芸を手掛ける職人にパーツを手作りしてもらうことも。新たな発想と伝統の融合、異素材の組み合わせ、他社との繋がりなども、ものづくりから生まれる出会いを私自身、思い切り楽しんでいます。」

Profile
ものづくりに関わる仕事に興味を持ち、1997年、アクリル等の樹脂を使った製品の製造を行う(株)プラスチックに入社。2014年、自社ブランド「MOHEIM」の立ち上げに中心メンバーとして参画、国内外のデザイナーアワードを受賞したゴミ箱「iSWING BIN」などを世に生み出す。

Favorite Tool
— ノート
打ち合わせのときに欠かせないノート。中には、数々のアイデアとともに、無限の可能性がぎゅーりと詰まっている。

Person 03

15年越しに叶えたロボット開発者になる夢

・GROOVE X 株式会社
中央区日本橋浜町 3-42-3 住友不動産浜町ビル

南地 秀哉さん
Hideya Minami
UI/UX デザイナー
UI/UX Designer

ロボットの開発者になりたい。中学生のときに抱いた夢を浜町にあるベンチャー企業で叶えたのが、「LOVOT(ラボット)」のスマホアプリを開発している南地秀哉さん。UI/UX デザイナーを担当していた大手家電メーカーから、2017年に転職。その決め手となったのは、LOVOTと初めて触れ合った際に奥さまが発した「幸せな気持ちになる」という言葉だったそう。「LOVOTは表情やしぐさを見ているだけでも十分癒されますが、アプリは人の繋がりをより深く、強くする役割を担っています。オーナー様はアプリを通して、行動記録や状態表示から LOVOT のことをもっと知ることができ、アプリ開発に終わりは無いですが、日々の幸せをつくれるこの仕事に、やりがいと喜びを感じています。」

Profile
1987年、大阪生まれ。東京大学工学部卒業後、武蔵野美術大学大学院にて工芸工業デザインを学ぶ。新卒で(株)東芝デザインセンターに入社。2017年にGROOVE X(株)に参画。家庭用ロボット「LOVOT」と連携するスマートフォンアプリの立ち上げとUI/UXデザインを手掛ける。

Favorite Tool
— LOVOT、ノートパソコン
ユーザー目線を体感するうえで、会社や自宅などそばにはいつも LOVOT が。仕事の相棒はノートパソコン。マウスにもこだわっている。

隅田川沿い、日本橋エリアの一角に位置する、日本橋浜町。下町風情が微かに残る趣深い街並みに、最近では暮らしを彩る新たなカルチャースポットが続々と生まれています。

「BRIDGE」は、そんな浜町の魅力や変化を、まちの中の人に、まちの外の人に、発信していく地域密着メディアです。

住民と住民を。ワーカーとワーカーを。伝統と新風を。この小冊子が繋ぎ合わせる“橋”となり、浜町にさらなるシーンとワクワクを誘います。

About BRIDGE



Supervised by 一般社団法人日本橋浜町エリアマネジメント Supported by
Edited by goodmornings Co.,Ltd
Design by Form inc.
Date of Issue 2022_5_30

安田不動産 明徳産 建設技術研究所

Person 04

江戸から続く技術でモノに新たな息吹を宿す

・経新堂稲崎表具店
中央区日本橋浜町 2-48-7

稲崎 知伸さん
Tomonobu Inezaki
表具師
Picture framer

「表具師は裏方の仕事。お客様から預かった掛け軸などを表装し、『こんなに素敵になるなんて!』と驚く顔を見るときがいちばんの晴れ舞台だね」。仕事のやりがいをそう語る稲崎知伸さん。江戸時代から続く表具師の家に生まれ、家業を継ぐ決意をしたのは24歳のとき。「ポロポロになった古い美術品を修復し、新たな息吹を宿して、数百年後にまで残す仕事の素晴らしさに気が付いたんだよね」。そう話す稲崎さんの表具師としての仕事ぶりは実直なもの。「表具の手法も使う糊も、のちのち修復がしやすいように配慮します。次に修復作業を手がけるのはきっと自分じゃない。だからこそ、100年先を想像して、今、目の前の作品に向き合ってます。美術品と一緒に表具の技術も残していけると嬉しいよね。」

Profile
江戸時代、天保年間から続く表具店「経新堂 稲崎」の5代目当主の長男。建築士として働いていた設計事務所を退社し、24歳で家業を継ぐ。表具師として掛け軸や屏風の仕立てや保存修復を行なう一方、浜町商店街連合会副会長も務め、浜町のまちづくりにも尽力する“まちの兄貴分”的存在。

Favorite Tool
— 鉋(かんな)、包丁、刷毛
木枠を削るときに使う鉋や、和紙を何枚も重ねて裏打ちする際に使用する刷毛など、表具師が使用する道具は多岐にわたる。

Person 05

伝統に遊びゴコロを「好き」の先に出逢えた天職

・福田紋章店
中央区日本橋浜町 3-1-7

福田 昭三さん
Shozo Fukuda
紋章上絵師
Crafting coat of arms

着物に家紋を描き入れる紋章上絵師という伝統職に就いて60年以上。福田昭三さんは、皇室の御紋も手掛けるこの道の匠です。「子ども頃から絵を描くのが大好きで、仕事にできるのならと15歳で上京。昭和30年代には都内に数百軒あった紋屋も現在残っているのは数軒。紋章上絵師も10人ほどになってしまいました」。継承者が減る一途をたどる中、福田さんは個人向けの洒落紋の注文を受けるなど積極的に活動。「白黒の紋ばかりじゃつまらないから、カラフルな“ぼかし紋”を考案したのですがこれがなかなかの評判で。特許を取得したぼかし紋の技術を後世に残そうと、紋職人の方々に実技講習も行っています。伝統とともに新たな技を生み出さずを伝えられたら、本望です。」

Profile
山形県出身。15歳で上京し、紋章上絵師に弟子入り。その後、師匠の跡を継ぎ浜町にて活動。一般技能士上絵師として東京紋章上絵師組合名誉会長を務め、平成26年度には天皇陛下から黄綬褒章を受章。地元では日本橋浜町二町会の町会長を務め、浜町頭顔の歌い手としても知られている。

Favorite Tool
— 分廻し(ぶんまわし)、定規、筆
約6000種類あるといわれている日本の紋章は、分廻し(和製コンパス)と定規を巧みに操り、筆で着物に書き入れる。

Person 06

「ちょうど良い」を合言葉に暮らしをよくするデザインを

・河津株式会社 ケウカ事業部
中央区日本橋浜町 3-15-1 日本橋東側ビル402号

吉賀 陽也さん
Yoshika Yoshika
ブランドディレクター
Brand director

「ちょうど良いをつくる」をコンセプトに、衣食住に関わるオリジナル商品を生み出し、販売する「KEYUCA(ケユカ)」。「お客様にとって『ちょうど良い』商品を生み出す過程は限界を追求する作業の連続です。へたりにくいスリッパを開発した際には強度を検証しようとして、スリッパをはいて会社から自宅まで約6キロの道のりを歩いて帰ったことも」。そんな製作秘話を語ってくれたのは、ブランドディレクターの吉賀陽也さん。最近では、サウンドメディアで商品に込められた思いの発信もスタート。「作るだけじゃなく、“伝える”ことができるのも、企画、製造、販売を一貫して行っている弊社だからこそ。その強みを生かして KEYUCA の魅力をより多くの方に知ってもらいたいです。」

Profile
大学でデザイン工学を学んだ後、2005年に河津(株)に入社。デザイナーとして、KEYUCAの商品のデザインを担当。現在は、家具・カーテン、ファブリック、生活雑貨、服飾雑貨・アパレルの4部門を束ねる、ブランドディレクターとして、「KEYUCA」らしい企画・商品開発に奮闘中。

Favorite Tool
— iPad
撮影した写真を加工し資料を作ったり、その資料を使って打ち合わせをしたり。どのシーンにも欠かせない相棒。

Person 07

「できない」は言わない人の思いに向き合う仕事

・きものトータルクリニック吉本
中央区日本橋浜町 1-8-8

庭野 秀義さん
Hideyoshi Niwano
衣類補正士
Repair

「シミ抜きに困ったら、庭野さんのもとへ行け」。業界内でこう囁かれるほどの技術を持つ職人が『きものトータルクリニック吉本』の庭野秀義さん。「同じシミでも程度は限界を追求する作業の連続です。失敗は許されない中で作業は真剣勝負。だからこそ、修復困難と言われるモノに挑戦する楽しさや喜びも感じます」。そう語る庭野さんのもとに持ち込まれるのは、戦前に誂えられた貴重な着物もあればハイブランドのバッグも。「ときには無事に蘇った品物を手に涙を流される方もいらっしゃいます。そうしたお客様と接するたびに、自分はモノだけではない人の思いも扱っていることを実感し、多くの方の期待に応えるためにもこの技術を絶やしてはならないと思っています。」

Profile
新潟県十日町市出身。染色業を営む家業を継ぐことを視野に、高校卒業後は京都の染織短大へ進学。卒業後、着物のシミ抜きや修繕を専門とする(株)吉本に就職。京都本社での約3年におよぶ修行を経て東京へ異動。ベテランの職人として活躍する一方、関東エリアの責任者も兼務。

Favorite Tool
— キリワラ、ベンジン
着物の汚れを落とす際に使用するブラシ状のキリワラとベンジン。生地を傷めないキリワラの動かし方が修行の一手。

繋がる、いい街、いい仲間

浜町のランドマークとしておなじみのHAMACHO HOTEL。その2階に“日本のものづくり”に触れることができる客室があるのをご存じですか?「TOKYO CRAFT ROOM」と名付けられたその部屋に、老舗表具屋「経新堂」の稲崎知伸さんと海外のアーティストがコラボレーションした作品が新たにお目見え。作品が飾られた空間を、HAMACHO HOTELの支配人、福島悠さんに案内して頂きました。



HAMACHO HOTEL
支配人 福島悠さん

イギリスの大学の卒業後、ロンドンのホテルでインターンとして働く。帰国後の2015年、まちやゲストと近い距離で接することのできる仕事に魅力を感じ、UDS(株)に入社。「MUJI HOTEL GINZA」を経て、2021年10月、「HAMACHO HOTEL」支配人に着任。

経新堂稲崎表具店
稲崎知伸さん

江戸時代、天保年間から続く表具店「経新堂 稲崎」の現5代目当主の長男。表具師として掛け軸や額、屏風、襖や障子の仕立てなどを手掛け、中でも古い美術品や工芸品の保存修復を得意としている。伝統を継承する職人である一方、浜町商店街連合会の副会長も務める、まちの頼れる存在。

——稲崎さんとオランダのアーティスト、フラー・ファン・ドールデワードさんとのコラボ作品誕生には、どんないきさつがあったのでしょうか。

福島 「TOKYO CRAFT ROOM」は、宿泊しながら優れた日本の作り手と国内外のデザイナーのコラボレーションによる新たな“ものづくり”を体感できる特別な空間で、宿泊の予約が入っていないときは見学もできます。開業当初から「いつかは地元、浜町の作り手さんの作品を」という声は強くあって。今回、浜町を代表する職人でもある稲崎さんと、アルステルダムを拠点に活動するアーティストフラーさんを結びつけることができ、ようやく実現することができました。



稲崎 僕のところにオファーがあったのは2年ほど前。すでにコロナ禍にあったので、デザイナーのフラーさんとはオンラインで打ち合わせを重ねました。実は、最初の構想では、9枚のパーツに分かれていて、それぞれを表装するというもの。けれど、打ち合わせを重ねる中で、フラーさんが「作品を巻けるようにしたい」と。

福島 巻子本や掛け軸など日本の伝統的なものにインスピレーションを受けたのかもしれないね。結果、4.5mもの長さがある薄い和紙を展示することになるのですが、稲崎さんにとっては、容易なことではなかったはずですよ。

稲崎 表具屋として、まず考えるのは作品を引き立てながら、なおかつ、安全に展示できる方法です。そこで提案したのが作品の裏に棧木(さんぎ)をあしらい、その棧木を壁に固定させるという方法でした。ところが、フラーさんから、棧木は裏ではなく表に出し、白く塗ってほしいという要望が。

福島 大胆な仕様変更ですよ。フラーさんの作品は写真、彫刻、絵画を交差しながら身近な素材を用いて構築した作品を、最終的に写真という手法で完成させるので、今回使用した棧木も作品のひとつに見立てたということなのでしょう。

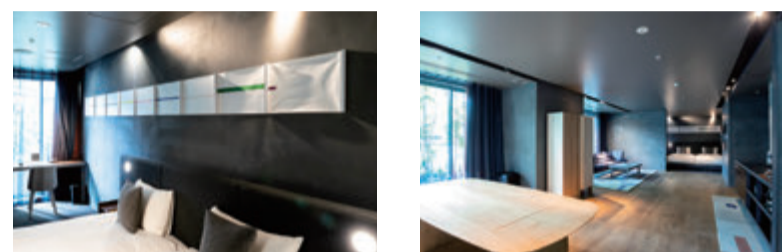
稲崎 最終的なイメージが固まったら、いざ作業の開始です。まず、作品にシワやたるみがないように裏打ちをして本紙を繋ぎ、補強のために間に木片を貼る。さらに、地震がきても落ちないように、裏には掘り込みを施しました。



——実際に客室に飾られた作品を見た感想はいかがでしょう。

稲崎 いい感じですよ!洋の空間なのに和の素材が意外と映えますし、壁のアクセントにもなっています。

福島 窓から差し込んだ自然光が作品を照らす朝は、とくにこの作品が輝くんです。そして、美しいだけでなく、見えないところにもきめ細かい配慮と職人技が組み込まれている点がこの作品の魅力。こうした形で今後さらに、日本の伝統技術を発信していきたいとあらためて思いました。



——福島さんは浜町で働くようになって半年ほどだとか。まちの印象はいかがですか?

福島 先日、日本橋浜町エリアマネジメントの協議会に参加させていただいたのですが、住民の方も、このまちで働いている方も、多くの皆さんが「浜町を盛り上げよう!」と意欲を持ってまちづくりに取り組んでいることに驚きました。公園の活用方法や浜町で発見されたというナウマンゾウの化石の話題で盛り上がり、私もだんだんワクワクしてきました(笑)。



稲崎 いちばん盛り上がるのは神田祭のお神輿なんだけどね(笑)。今はコロナ禍でお祭りもできないので、その代わりに「浜町大抽選会」など新たなイベントを企画して、皆さんに楽しんでもらっています。

——稲崎さんはこのまちの変遷をずっと見てきたのですよね。

稲崎 僕が小学生の頃までは、黒塚の料亭がまちのあちこちらにあって、学校から家に帰るまでに何人もの芸さんとすれ違うほどだった。その料亭がマンションに代わり、新たな住民の皆さんが来てくれた。それによって、古い考えだけじゃなく、新しい視点も加わるんだったら、それはまちにとって、とても大きなメリットだよ。

福島 新参者としては、そうおっしゃってもらえることがとてもありがたいです。実は、浜町に異動になる前に、上司から「きっと福島さんの力が発揮できるまちだよ、浜町は!」と言われたんです。その意味がだんだんと分かってきた気がします。ホテルとして、もっとまちに関わっていきたいです。

稲崎 それなら、ハロウィンイベントのときに開催する移動商店街に参加するなどはいかがですか?

福島 いいですね!私、仕事とプライベートを分けることなく、常に楽しく過ごしたいなと思っているんです。浜町がますます好きになるように、色々な活動に参加できたらなと。先輩、よろしく願いいたします。

稲崎 このまちでどんどん活躍してください。私たちも楽しみにしています。



HAMACHO HOTEL
https://hamachohotel.jp/
TOKYO CRAFT ROOM http://tokyocraftroom.jp/
中央区日本橋浜町 3-20-2



経新堂稲崎表具店
https://www.kyoushindo.com/
中央区日本橋浜町 2-48-7

(一社)日本橋浜町エリアマネジメントとは?

日本橋浜町エリアマネジメントは、日本橋浜町界隈をより魅力的なまちにしようと2020年4月に発足された団体。地元町会・商店会・企業・住民のみなさんと連携しながら、まちの交流促進・まちのプロモーション・まちの環境整備等の活動を行なっています。ここでは、その活動の一部をご紹介します!

1/23~2/24 浜町大抽選会



浜町商店街連合会主催で開催された「浜町大抽選会」。日本橋浜町エリアマネジメントも運営に携わらせていただきました。内容は、対象店舗でお買い物というもの。1ヶ月間の開催でしたが、なんと予想をはるかに超える6265通の応募が集まったんです。たくさんのご応募、本当にありがとうございます!参加者からは、「行ったことがないお店で買物をする良いきっかけになった!」という嬉しい声もあがりました。

明治座創業150周年記念
芸能生活50周年「吉幾三特別公演」

吉幾三が明治座に初登場!第一部は涙あり笑いありの人情喜劇。第二部のショーは「吉幾三の音楽の世界」をたっぷりお届けします!

【第一部】
親はがっかり!子はしっかり!
出演 吉幾三
中本賢・芳本美代子・島崎和歌子・佐藤B作 他
【第二部】
50th Anniversary in 明治座
頼り...頼られ...ありがとう
料金(税込):S席(1,2階席)12,000円/A席(3階席)6,000円
明治座
中央区日本橋浜町2-31-1
☎03-3666-6666 (明治座チケットセンター)
※営業時間 10:00~17:00
https://www.meijiza.co.jp/

2022年7月8日(金)~7月24日(日)
12:00/16:30



浜町きれいプロジェクト

2ヶ月に1回開催している、まちのクリーン活動。トングやゴミ袋、軍手も全て運営事務局が用意するので、手ぶらでの参加が可能。住民・ワーカーの垣根を超えて、毎回たくさんの方にご参加いただいています。お一人で来られる方も多いので、気になる方はぜひご参加ください。
参加費:無料

奇数月の第一水曜に開催
※開催日は変更になる場合がございます



一般社団法人日本橋浜町エリアマネジメント事務局
中央区日本橋浜町3-10-6
☎03-6661-7084
※開催については、HAMACHO.JPをご確認ください

※各種イベントは新型コロナウイルスの影響により内容変更場合があります。詳細は各公式サイトをご確認ください。

(一社)日本橋浜町エリアマネジメントの公式HPでは、各プロジェクトの様子をより詳しく紹介しています。イベントの開催情報はオフィシャルLINEをご覧ください。



一般社団法人
日本橋浜町エリアマネジメント事務局
☎03-6661-7084



公式HP

オフィシャルLINE

NEWS! 浜町サービスパスの内容が更新されました!



サービス内容はこちら

お友達追加はこちら

NEWS! PRムービーができました!



2020年4月の設立から2年。日本橋浜町エリアマネジメントのPRムービーが完成しました!動画のタイトルは「Keep Rowing Hamacho」。このタイトルには、浜町に昔からいる人々、新しく集まってきた人々、みんなが繋がりがながら、今までの歴史や伝統を受け継ぎ、未来に繋げていこうという思いが込められています。イベントの様子や、まちの方へのインタビューなど、内容が詰まった見応えたっぷりの動画です。私たちのHPやYouTubeで公開しているので、QRコードからご覧になってみてください。

5月1日(日)~6月30日(木)
提供時間:11:00~17:00



森乃園×ロイヤルパークホテル
ほうじ茶アフタヌーンティー

人形町にある、大正三年創業の自家焙煎ほうじ茶専門店「森乃園」とのコラボレーション企画。繊細な急須のチョコレート細工に、ほうじ茶の香ばしい味わいのスイーツ、和と洋のハーモニーをお楽しみください。
料金:¥5,445(税金・サービス料込み)※写真は2名様分

ロイヤルパークホテル1階ロビーラウンジフォンテーン
中央区日本橋蛸船町2-1-1
☎03-5641-3600
(レストラン予約専用ダイヤル 9:00~19:00)

親子でいまを一緒に楽しむ
「Blanket(ブランケット)」

浜町3丁目のコミュニティカフェ「Hama House(ハマハウス)」で、定期的にママと赤ちゃん向けのワークショップを開催しているBlanket。「赤ちゃんのお眠り講座」や「ママと赤ちゃんの抱っこ講座」など、日々の育児に役立つ講座が盛り沢山!ママ同士の交流も楽しめる場です。赤ちゃんと一緒に参加できるので、息抜きがてらぜひ遊びに来てくださいね!
参加費:講座により異なります

Blanket(ブランケット)
連絡先: blanket.project0719@gmail.com
Instagram: @blanket_mama_baby

ハマハウスにて定期開催



BRIDGEのお問合せ先は、HAMACHO.JP WEB サイトまで。
その他、浜町をもっと知ってもっと楽しめるコンテンツも盛りだくさん。

